電子情報工学科大ゼミ（同窓会支援企画）「先輩からのメッセージ」

（社会で活躍する OB/OG から学生の皆さんの将来に向けた提言）

年明けから円安，株高と続き，日本の経済全体としては厳しさが一段落した印象があります（ややバブルな感じもしますが・・・）．しかしグローバル化に苦闘する大手電機メーカーと，大学推薦の効力が減った学生の就職には，それほどの緩んだ印象がありません．グローバルに戦える優秀な人材獲得を目指す企業，自らの天職を探し求める（またはひとまずの安泰が得られる就社を目指す）学生の熱心な活動が続きます．本企画における諸先輩方のリアルな物語は，陰に陽に学生の心に刻まれ，面接応答のどこかに反映されているのだろうと信じております．

宮瀧雅人さん（1986 年卒，日立電線）「グローバル時代のエンジニアを目指して」── 学生時代に 12 種類のアルバイトを経験したという宮瀧さん．就職後にはマレーシア・ジョホールバルへ出向し，日本のサッカーワールドカップ出場決定を間近で応援，英会話が通じない苦労はもとより Yes = No という異文化の壁，スペイン語に苦労しつつも執念で勝ち取ったアルゼンチンでのシステム認可など，仕事での面白い逸話をご披露いただきました．3 種類の人間がいる（居てほしい人，居てほしくない人，居ても居なくてもいい人），好きで儲かって社会貢献できることが一番，伝えるを極める，美・利・善！

浅野洋介さん（2002 年卒，木更津高専）「教員生活と時間管理～仕事もプライベートも充実させるために」── 劇団，合気道，クロスバイクと多彩な趣味をお持ちの浅野さん．木更津高専から本学へ編入，ロボティクスの研究で博士号を取得，JAICA 活動でトルコに滞在などを経て，昨年から母校の講師となられました．上下関係に縛られた 15～20 歳の若者たちが寮で寝起きを共にする高専の独特の文化のご紹介に加え，ご自身の時間管理のための様々な工夫をご披露いただきました．業務解析，To Do リスト，時間短縮・マルチタスク化，文房具のこだわりグッズなど，生活での研究熱心に脱帽．

徳田篤洋さん（1985 年卒，新日鐵住金）「製鉄電気屋の一事例」── 前年度の講演を予定していた徳田さん．安全部門長として突発した社内事故の処理にあたるため急遽キャンセル，1 年遅れの登壇となりました．どこでもいいと適当に鉄屋となった電気屋の立場，いきなり巨額のプラントを任される驚きと不安，仲間からの信頼の重要性，使い物になる製鉄制御をディジタル技術で初めて実現して感じた仕事の醍醐味，管理職に就いた後の苦悩などなど，ドラマチックな人生を語っていただきました．学びに終わりなし，アグレッシブな興味とこだわらない柔軟さが人を豊かにする，出逢いの大切さ！

落合麻里さん（1996 年卒，三菱電機）「技術の流行りと研究テーマ」── 携帯電話が日本社会に拡大・浸透していった 1990 年代に無線通信技術と出会った落合さん．人生の中で一番勉強した，誤り訂正符号に取り組んだという研究室時代，PHS，cdma One など新技術や新サービスが次々に登場した絶頂期での就職，初めて取り組んだ衛星携帯の脚光と衰退，無線 LAN の標準化大成功とその後の標準化ブーム，技術開発とは別に渉外活動の重要性の高まり，RFID や自動車のスマートキーの開発など，淡々とした語り口で，ご自身の体験と技術の変遷を振り返っていただきました．

岸川徳幸さん（1984 年卒，NEC ビッグローブ）「IT 業界で働くということ」 ── 同窓会の WEB システム導入や新入生合宿にご協力いただく岸川さん．昨年度，NEC ビッグローブ執行役員・本部長に就任されました．腕立て道場，嫁コレなど同社アプリのご紹介後，競争が高速化する IT 業界の今を語っていただきました．ビジネスの賞味期限が短くなり迅速な意思決定が必要，変化→軌道修正が前提でスタートし，しばらくしてから最高品質へが普通，企画・開発・運用を一体化して進める，文理融合の博識や改善スピードが命などなど，経営者としてのリアルなお話をいただきました．

高橋和晃さん（1986 年卒，パナソニック）「我が国の無線技術発展を願って ～ギガビットワイヤレス」 ── ミリ波無線センサーデバイス開発で 30 名のチームを率いる高橋さん．1990 年前後の携帯電話黎明期の開発に携わった後，2000 年前後にはミリ波技術の研究へと展開．「Ph.D がないとなかなか相手にされません」と 2006 年に博士号を取得．その後は 60 GHz システムのスマートホン搭載に向けたグローバル競争，60 GHz 無線標準規格 WiGig の仕様決定では Intel や Cisco との交渉に当たったことも．標準化活動ではキーマンを見つけて見方に付けることが大事！

池田博さん（1973 年卒，東芝三菱電機産業システム）「JV 設立とグローバルビジネス展開」 ── 様々なジョイントベンチャーJV の立ち上げ経験をお話いただいた池田さん．東芝が米 GE 産業システムを融合した東芝 GE オートメーションシステム社，東芝と三菱の電機設備事業が合体した東芝三菱電機産業システム社．いずれもグローバル展開で英語によるコミュニケーション能力や世界に通じる基礎学力が必須．海外でも仕事のやり方は同じで，「誠意ある対応」，「発展してやまない気概」，「フレキシブルに粘り強く」などなど，説得力あるお言葉をいただきました．

朴熙中さん（2005 年卒，SK ハイニックス）「メモリー産業の現状と未来」 ── 本企画のために韓国から飛んできてくれた朴さん．韓国から来日して学部から本学科で学び博士号取得，UC バークレーにも留学して集積回路を研究されています．ハイニックスは韓国第二位の半導体メモリーメーカー．この業界での仕事内容や先端研究を研究室での生活を重ねてわかりやすくお話いただき，さらに IT のトレンドとメモリーの関連性，各種メモリーの原理，ReRAM，PCRAM，STT-RAM といった先端研究を解説いただきました．今後は 3 次元化に展開するとか．

昨年度で 6 年を経過した本企画，合計で 47 名の同窓生に登壇いただきました．学生支援の一環で始まったものですが，これを契機の一つとして同窓会の会則が変更され，学生会員の導入，新入生交流合宿などへとつながりました．また多くの皆さんに「グローバル！グローバル！」と叫んでいただいたおかげで，昨年度から大学院講義の完全英語化が実現しました．全学・全国に先駆けたコース丸ごとの取り組みです．本年度から学生会員は学部 2 年生に進み，本企画は会員どうしの対話の場になります．皆さんの提言をもとに，同窓会も大学もどんどん変わっております．

（1985 年卒馬場俊彦，1984 年卒吉川信行（本学教員））